

温暖化防止できることは

町がサポーターとボランティア募集

ゼロカーボン事業

下諏訪町は、二酸化炭素実質排出量ゼロ（ゼロカーボン）に向けた事業に協力する

ボランティアスタッフを募っている。町が行う啓発イベントの手伝いやメールマガジンへの寄稿などを行い、一緒に

賛同を輪を広げながら目標達成を目指していく。

今月末に「ゼロカーボンシティ宣言」を行う予定の同町では、今年度から町住民環境課内に「ゼロカーボン推進室」を設置。趣旨に賛同して

積極的に再生可能エネルギーの利用やごみ削減に取り組むサポーターと、町の事業に協力してくれるボランティアスタッフの募集を始めた。

同町では5月29日、初め

てのボランティアスタッフ打ち合わせ会議を下諏訪総合文化センターで開き、その時点で登録のあった11人と1事業所のうち、3人と1事業所の代表者が集まった。会議では、同推進室職員が今年度のゼロカーボン推進事業のスケジュールを伝え、生ごみ堆肥の配布やメールマガジンへの寄稿などに協力してほしいと呼び掛けた。

高校生の娘と一緒に登録した井出紀子さん「社東町は「温暖化が進めばもう諏訪湖の御神渡りが見えなくなってしまう。自分にできることはないかと思ひ登録した」といい、「自然の美しい風景を残していくために、環境について勉強していけたら」と話していた。

同町では、ボランティアスタッフを随時募集中。詳細は町ホームページから確認することができる。問い合わせは同推進室（電話27・1111、内線141）へ。

下諏訪総合文化センターで開かれた打ち合わせ会議＝5月29日

